

令和5年度静岡市協働パイロット事業

大・小まち探検ゲーム開発を通じた

地域コミュニティの

活性化プロジェクト

事業報告書

特定非営利活動法人 まちなびや

1. 実施期間

令和5年7月6日～令和6年3月31日

2. 事業概要

現在、大谷・小鹿地区は、大谷・小鹿地区まちづくりグランドデザインに基づき、まちづくりが進められているが、現存の自治会等組織の高齢化、縮小化や大規模開発による新規住民の流入により、新たなコミュニティの形成が必要となってくる。

昨年開発した大・小まち探検ゲームを踏まえ、さらに新たな地元情報を盛り込み、住民参画のまち探検ゲームを開発する。その過程で地域の魅力や課題に気づいたり、コミュニケーションを重ねる機会を生み出した。以下に内容を示す。

(1) 大・小まち探検ゲーム作成ワークショップ

大谷・小鹿地域のまちの大人に小学生が取材をし、クイズを作成することで、地域の魅力に気付くきっかけとする。ワークショップ実施前に、大学生がまちの人に事前取材を行い、小学生が使うワークシートを作成した。ワークショップ当日は、取材や写真撮影の仕方を講師がレクチャーし、その後大学生が小学生をサポートしながら少人数で取材を行った。取材の音声を録音、クイズを作成し、まち探検ゲームの要素として活用した。

(2) 大・小まち探検ゲームの開発・実施

昨年開発したまち探検ゲームをふまえ、継続参加の大学生から学びつつ、より大学生の参画の度合いを高めながら今年度のまち探検ゲームの開発を進めた。取材対象者への事前取材や定期的なミーティングを大谷地域の宮川公民館で実施するなど、大谷地域で活動する機会を増やし、多様な魅力に気付く機会を設けた。音声素材の編集、さらに何度か修正をし、昨年よりぐっと聞き取りやすく、わかりやすいまち探検ゲームとなった。ゲーム参加者はそれぞれのペースで参加、「まちの人」を通じて魅力に気付くことができた。

(3) 地域住民とのミーティング

大・小まち探検ゲーム実施に合わせ、参加者ヒアリング・グラフィックレコーディングを体育館で実施した。まち探検ゲーム参加者だけでなく、体育館への来場者から広く意見を聴取した。

・市の協働事業担当課 大谷・小鹿まちづくり推進課

3. 実施内容報告

(1) 大・小まち探検ゲーム作成ワークショップ

実施内容

- ・ まちの人リサーチ・事前取材・取材、ワークシート作成
 - ◇大谷小学校 深澤先生
 - ◇大谷小歴史の会 増田様・鷺野様
 - ◇稲作農家 鈴木様
 - ◇宮川・水上土地区画整理組合 津久井様
- ・ 静岡大学公認ボランティアサークル AVEC（アベック）様
打合せ 2023年7月9日～8月5日
- ・ 夏休みおしごと探検隊 「大・小まち探検ゲームを作ろう！」

2023年8月9日（水）9:30～14:00

会場：静岡市大谷小学校会議室

参加者：小学校4年生1人 5年生4人（静岡市立南部小学校2人、大谷小学校3人）

講師：まち探検ゲーム紹介 増田 彩香（株式会社 Otono）

取材講座 板倉りえ子（コドモンデ ライター）

写真講座 杉山雅彦（フォトスタジオピース）

サポートスタッフ：NPO 法人まちなびや3人、静岡大学学生12人、担当課職員2人



スケジュール

- ① 大谷・小鹿地区の紹介、撮影・取材の仕方レクチャー
- ② まちの人へ取材・撮影
- ③ 音声確認・クイズ作成



①写真家による撮影講座



①ライターによる取材講座

写真省略

取材前の練習

②取材（稲作農家）

写真省略

②取材（大谷小歴史の会）

②取材（大谷小歴史の会）

写真省略

②取材（大谷小学校）

②取材（宮川・水上土地区画整理組合）

写真省略

③ワークシート作成

③ワークシート作成

写真省略

③ワークシート完成！

③クイズ問題作成

なお、当日の様子は静岡市のボランティア情報誌「はとな通信」2024年9月第39号に掲載された。



(2) 大・小まち探検ゲームの開発・実施

「大・小まち探検ゲーム」は、大谷・小鹿の魅力を再発見する目的で作成した、スマホと連動する音声クイズラリーで、夏休みの「大・小まち探検ゲームを作ろう!」を軸に開発した。

スタートの大谷小学校からおよそ半径 600m のエリアにある 5 つのスポットを友達同士や親子でめぐり、取材音声を聞いてクイズラリーの答えをシートに記入、40~60 分ほどでゴール。

・実施日時 令和 5 年 11 月 25 日 (土) 10:00~12:00
13:00~14:30

・参加者 合計 19 人

午前 5 組 小学生 3 人 保護者 2 人 大学生・大人 6 人

午後 5 組 小学生 2 人 保護者 1 人 大人 5 人

・サポートスタッフ

NPO 法人まちなびや 4 人、静岡大学学生 (AVEC) 3 人、
おともたび 1 人



実施内容

- ① まち探検ゲーム受付・説明
- ② エリア内のスポットで音声を聞く。
写真撮影のミッションも実施。

写真省略

- ③ ゴール後、体育館へ移動。写真の撮影場所を
マップに貼り、参加賞をもらって終了。

クイズラリーシート



今回は一斉スタートではなく、参加者ごとにスタッフが説明をし個別スタートとしたので、アプリ作動でのトラブルや操作ミスなどはなく、スムーズに参加いただけた。天気もよく、田んぼや自然の写真やコイン精米機などの写真が投稿され、自然の豊かさを感じる参加者が多かったことが伺える。

契約当初より静岡大学の学生と定期的にミーティング・取材対象者との事前取材などを進め、夏休みの取材、その後の編集など、学生がよりきめ細かく、主体的にまち探検ゲームの作成に関わった。音声スポット作りもポイントを押さえ、調整したので昨年のような聞き取りづらさはなく、改善することができた。

(3) 地域住民とのミーティング

まち探検ゲーム参加者や体育館の出展、企画への参加者にヒアリングし、大谷小の児童・保護者、幼児、大学生、地域の大人など多様な世代の意見を聴取することができた。



(資料として末尾に添付)

■開発スケジュール

- 7月9日 AVEC 打合せ～取材結果共有・小学生向け取材内容検討・音声編集について
- 7月9日～8月5日 取材シート・ワークシート作成
- 8月10日 「大・小まち探検ゲームをつくろう！」実施
- ～9月9日 ゲーム用原稿作成・音声データ編集
- 10月1日 AVEC 打合せ～ゲーム用データ入力
- 10月26日 AVEC 打合せ～ゲーム現地動作確認
- 11月25日 大・小まち探検ゲーム開催
- 11月27日 地域の取り組み（久能山東照宮用しめ縄のわらすぎ）見学・取材・体験
小中一貫教育推進コーディネーターをつなぐ
- 12月7日 おともたび担当打合せ～まち探検ゲームふりかえり
- 12月17日 AVEC 打合せ～まち探検ゲームふりかえり
- 12月21日 久能山東照宮 しめ縄作り見学・取材・体験

4. 今年度の成果と今後へ向けて

今回の事業では、地元情報を盛り込んだ住民参画のまち探検ゲームを開発し、その過程で地域の魅力や課題に気づいたり、コミュニケーションを重ねる機会を生み出したりすることが目的である。以下、成果と課題を挙げる。

成果①大・小まち探検ゲームが完成、多様な地域の魅力を体感できた

昨年の夏休みおしごと探検隊「シゴト人マップを作ろう！」に続き、「大・小まち探検ゲームを作ろう！」を実施、参加した小学生たちは、大谷地域のまちの人に取材・撮影をし、取材音声を元にしたクイズの作成まで行った。こうした取り組みを通じて小学生たちは大谷のまちの人と出会い、交流を重ね、これまで気づかなかった大谷地域の魅力に気付くことができた。また、事前準備の積み重ねで、静岡大学の学生が地域住民と多数関わる機会を得、コミュニケーションを重ねることができた。当該地域に春・夏・秋と何度も足を運んだこともあり、昨年に引き続きの大学生と新規参加の大学生 20 人が、多様な地域の魅力を体感できた。

成果②大・小まち探検ゲームのブラッシュアップができ、人材育成につながった

11 月 25 日のまち探検ゲーム実施までに AVEC メンバーと早期に打合せを始め、全体での打合せとまちの人ごとに個別に取材等を行った。学生自身が自分自身で地域を歩き、地域住民と多数関わったことでまちの魅力を再発見することができ、そのプロセスを通じてコミュニケーション能力の育成や情報収集能力の向上などが図られた。

また、地域イベントである夏祭りにまちなびや・AVEC 合同で出店をし、グラフィックレコーディングも行ったことで、大谷地域の魅力を様々な形で体感でき、主体的に活動するモチベーションを得ることができた。

そうした経験を活かし、11 月 25 日に実施されたバンピーノ・プロジェクトにおいては、大・小まち探検ゲームだけでなく、ゲームや駄菓子屋でも出店、地域のこども・保護者との交流を深めることができた。大谷地域で主体的に活躍する大学生・大人が少しずつではあるが、増えつつある。

今後へ向けて

大・小まち探検ゲームの開発を軸に地域と多様に関わることができたのは大きな収穫である。静岡大学の学生にも地域の魅力を実感してもらい、主体的な活動へとつないでいくことができた。

夏休み企画をはじめ、小学校との接点ができただけでも成果と言える。小中一貫教育推進コーディネーターとも関係性ができてきたので、「地域のために何ができるかを考える小・中学生」に今回の取組をつないでいきたい。「新たな参加者と新たな活動」を生み出す契機になればと考えている。

大谷小歴史の会や社会福祉協議会などとも接点を持っていたので、こうした既存の地域団体

資料 11/25 グラフィックレコーディング



2023.11.25

recorded by 2277777

新しい公園に
トランポリン//お
ほしい!
大きいブランコ・お台場



図書館に
あそびたいな



新しい公園に
恐竜
いれてほしいな!



歩道が
せまくて不便だな...



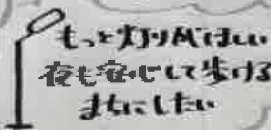
100円ショップが
ほしい!



ボールあそび
が大好きです
ほしい!



大学が
近くに
欲しい
思うまち!



企業に
ほしい

お店が増えほしい
あそび場もここに



大谷小の
お祭りの
思い出



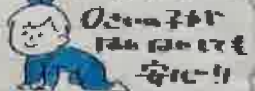
バスが
ほしい!

バスがほしい
バスがほしい

いばらの丘が
ほしい



雨でも歩けるスペース



カネが
ほしい



長時間バスが
ほしい

歩いて
海まで行きたい
まちがほしい



高台はほしい
海まで行きたい
安全

大谷小は
5月/年
くんねんしほ

でも
足りないから
ほしい



まちの中心
を大切に
開発してほしい
空

坂道でも
歩きたい
ほしい!

